

## 提言2. 青少年にとって魅力ある教会づくり

(1) 出張支部長が多いため、支部に根づいた布教ができない。特に青年と共に布教に歩くことがなかなかできず、関わりが少なくなっている。したがって、支部長が地元で修行ができるとよい。

青年との夜間法座やその他の交流ができやすくなり、また急ぎを要することでも電話ではなく、すぐに訪問することができる。

(2) 現在の青年部の特徴として、土・日に仕事やプライベートが充実していて、以前と違って青年部が一体となって活動することが難しい状況にある。また、個々人が得意なこと、好きなことの分野で活動している現況がある。また悩みごとなどの相談も一対一で話をしている。そういったことを考慮して、今後の活動を考えることが大切である。



### 青少年にとって 魅力ある教会づくり

(3) 幼少年の頃からの教育が大切である。まず、幼少年期から教会に連れてきて、「三つ子の魂百まで」ではないが、宗教的な環境にふれてもらう。そのような意味では、少年部のトップリーダー教育はとても役に立っている。

(4) 図書室のような青少年のための部屋づくり。お役以外の青年さんたちは居場所がない。青年に限らず誰が来ても居心地がよい場所があるとよい。

(5) 魅力あるリーダーの育成が大切。魅力あるリーダーとは、以下のような人である。

- ・みんなに平等で話をよく聴いてくれる人
- ・心が広く、信頼できる人
- ・青年たちの目線に立ち、いつも笑顔を向けてくれる人
- ・「こうあらねばならない」という枠がなく、心が柔軟な人
- ・責任はいつでも私が持ちますという「腹」が座っている人